

# 糖尿病センター(糖尿病内科)



診療科長  
(外来部門)  
山田 和範

専門医資格等  
京都大学医学博士  
京都大学臨床教授  
専門分野  
糖尿病  
得意疾患  
糖尿病



診療科長  
(入院部門)  
河野 茂夫

専門医資格等  
日本糖尿病学会  
糖尿病専門医・研修指導医  
日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医  
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医  
日本糖尿病学会 評議員  
京都大学医学博士  
京都大学臨床教授  
専門分野  
糖尿病  
得意疾患  
足病変



医長  
中川内 玲子

専門医資格等  
日本糖尿病学会  
糖尿病専門医  
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医  
専門分野  
糖尿病  
得意疾患  
足病変

## □ スタッフ

平成28年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	村田 敬	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 東京大学医学博士	糖尿病	若年者糖尿病
医師	小鳥 真司	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医 日本抗加齢医学会専門医 京都大学医学博士	糖尿病	糖尿病
専修医	渡邊 知一	日本内科学会 認定内科医	糖尿病	糖尿病
専修医	水谷結香子	日本内科学会 認定内科医 日本抗加齢学会 専門医 日本医師会認定 産業医	糖尿病	糖尿病
レジデント	岡田 早未	日本内科学会 認定内科医	糖尿病	糖尿病
レジデント	塚本 雅美	日本内科学会 認定内科医	糖尿病	糖尿病
臨床研究センター長	島津 章	日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 京都大学医学博士 京都大学臨床教授	内分泌代謝疾患、検査医学、神経内分泌	内分泌代謝疾患、検査医学、神経内分泌

内分泌代謝 高血圧 研究部長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 日本糖尿病学会近畿支部 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師	糖尿病、肥満(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌内科	糖尿病、肥満(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌内科
予防医学研究 室長	坂根 直樹	日本内科学会 認定医 日本肥満学会 評議員 京都府立医科大学医学博士	糖尿病	糖尿病
臨床内分泌代謝(専任) 研究室長	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 京都大学医学博士 京都大学客員研究員	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌
非常勤医師	小谷 和彦	日本内科学会 総合内科専門医 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医 日本動脈硬化学会 専門医 自治医科大学医学博士	糖尿病	脂質異常症、糖尿病

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本糖尿病学会認定教育施設 日本肥満学会認定専門病院
-------	-------------------------------

- 生活習慣病である糖尿病の治療には、患者さんご自身が自己管理能力を身につけることが大切です。当科では糖尿病教育、すなわち患者さんへの教育を実施すると同時に、患者さんに対する指導能力を高めた教育スタッフを育成し、より一層の治療実績アップに努めます
- 地域の糖尿病基幹病院としての責務を果たすべく、地域連携に努めます

## □ 主な対象疾患

2型糖尿病、耐糖能異常、1型糖尿病、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病神経障害と糖尿病足病変、糖尿病腎症、糖尿病網膜症(眼科)、妊婦糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、糖尿病性昏睡、重症低血糖

## □ 診療(業務)内容

糖尿病センターでは一般糖尿病外来および入院での診療に加えてさまざまな専門外来を開設し、さまざまなタイプの糖尿病および関連疾患およびそれらの合併症の充実した診療活動につながっている。

下記に専門外来の診療活動について紹介する。

- ・フットケア外来 毎週月曜日14時~/フットセンター外来 毎週火曜日14時~(2000年開設)フットケア外来では、主に糖尿病に由来する足病変に対応し、全国各地からの紹介患者を集めている。また、非糖尿病足病変患者に対する問い合わせも多く、難治性の足病変を扱う集学的な欧米型のフットセンターを目指している。フットセンター外来では初診は糖尿病センターで行い、一般診察をした上で、関係担当診療科へ紹介している。

- フットウェア外来(月2回:木曜日13時~16時 完全予約制)フットウェア外来では義肢装具士がオーストリア人の整形外科靴マイスター(Orthopedic Shoe Meister)と協力して、靴・装具の指導や調整にあたっている。
- 1型糖尿病外来(2005年開設) 毎週火曜日午前・午後、金曜日の午前。/インスリンポンプ外来(2010年開設) 毎週月曜日の午後。  
 医師、看護師、管理栄養士、薬剤師がチームを組み、療養を支援。特に、通常の食事に合わせてインスリンを調節するカーボカウント、寝る前の修正インスリンと補食による夜間高血糖と夜間低血糖予防、DKAや重症低血糖予防などの教育で、血糖変動をなるべく少なくする質の良い血糖コントロールの達成と生活の質(QOL)の改善を目指している。糖尿病センターに登録されている1型糖尿病患者は310名。インスリンポンプを用いた持続皮下インスリン注入(CSII)療法を行っている者は81名(新規導入8名)。その中で、SAP(パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプ)を用いている者は25名。2016年度の1型糖尿病外来の初診患者は19名である。
- 肥満・メタボリックシンドローム外来(2001年開設) 毎週 月曜日・水曜日9時~14時  
 肥満・メタボリックシンドローム外来では、医師・看護師・栄養士によるチーム医療をベースに、体重グラフや食事記録表を登載した当院独自の「ダイエットノート」を活用し、日本肥満学会が提唱する減量指導を行い、動脈硬化等の合併症も定期的に評価している。  
 また、外来患者を中心に2006年よりメタボ会(患者会)を定期的に開催。さらにメタボ通信、スマートランチ等をチーム医療で展開し、外来開設から現在まで延べ15,000人以上の患者治療を行ってきた。
- 脂質異常症外来(2005年開設) 第2,3,4木曜日。2015年3月末現在、家族性コレステロール血症(FH、108例)、高LDL-コレステロール血症(411例)、高トリグリセライド血症(290例)、高LDL-コレステロール血症+高トリグリセライド血症(167例)、  
 低HDL-コレステロール血症(64例)。FH診療認定施設(2013年~:日本動脈硬化学会)で、PCSK9阻害薬の使用も開始。CPK上昇例やスタチン関連自免疫性ミオパチーなどスタチン副作用症例への対応も行っている。高脂血症療養指導外来(2006年開設)を併設し、食事によるコレステロール改善プログラム(VIPプログラム)と節酒による中性脂肪改善プログラム(HAPPYプログラム)を提供している。
- 妊娠糖尿病外来(2007年3月開設)第2,4火曜及び毎週金曜日13時~15時 妊娠糖尿病は妊娠中に初めて発見された軽度の(糖尿病には至っていないレベルの)耐糖能異常で巨大児その他の周産期合併症の原因となる。また出産後の糖尿病発症リスクが増大する。妊娠前に糖尿病を発症した場合、糖尿病合併妊娠となり、胎児奇形が大きな問題となり、妊娠前血糖管理が重要となる。2016年度当外来を受診した新規患者数は74名であった。
- 糖尿病血管合併症外来/毎週金曜日13時~16時 糖尿病血管合併症外来では、糖尿病血管合併症のスクリーニングを行い、他科との緊密な連携によって治療にあたっている。特に、閉塞性動脈硬化症などの合併症に加え腎機能障害を有する糖尿病患者の短期入院で、外来での施行が困難な造影剤による画像検査を施行し、定期的なスクリーニング・治療への展開も検討している。
- 糖尿病透析予防指導外来 (2012年10月開設) 糖尿病腎症2期以上の患者を対象とし、医師、看護師、管理栄養士が連携して自己管理指導を行う。毎週月、水、木曜日に1名ずつの予約枠となっていて、現在3回シリーズとして指導を実施している。  
 さらに、糖尿病センターではコメディカルスタッフによる指導として一般糖尿病食事指導(管理栄養士)および糖尿病療養指導外来(インスリン自己注射、血糖自己測定、フットケア指導など:看護師)を開設している。また、自己管理(療養)を患者に指導する医療スタッフである糖尿病療養指導士(CDEJ)は、当院内で看護部、薬剤部、栄養科、検査科などに多数を擁し、綿密な糖尿病セルフケアを支援している。

## □ 診療実績(平成28年度)

### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
15.3名	348名	16.1日

### 外来患者数

1日平均患者数
96.6名

### 主な手術・検査の件数など

CGM(連続皮下ブドウ糖測定)	CAVI/ABI測定	CT(内臓脂肪面積測定)
29件	251件	62件

## □ 地域医療連携・広報活動

- ・糖尿病センターだより(糖尿病センター広報誌):2008年4月に糖尿病センター創立40周年を記念して発刊された患者向け広報誌。2016年度は36、37、38号を発刊。
- ・糖友会(患者会):日本糖尿病協会傘下の糖尿病患者会として昭和36年に発足した。2016年度総会は2016年11月26日に伏見の松廣で開催された(参加者23名)。
- ・糖尿病市民公開講座「第31回DM京都」出来ることからやってみよう ～効果的な食事療法について～  
2016年7月30日 参加者 約100名  
特別講演 「出来ることからやってみよう～効果的な食事療法について～」  
講師:関西電力病院 糖尿病・代謝・内分泌センター 黒瀬 健センター長  
講演 出来ることから備えよう～旅行・シックディ・災害時に必要な療養行動について～  
2-8病棟 柴田 美歩 看護師・糖尿病療養指導士  
講演 「糖尿病患者さんにおけるタイプ別の食事療法について  
～当院の現状と課題～」 岡田 伶奈 栄養管理室・管理栄養士
- ・京都医療センター糖尿病フットケア実践講座 2016年10月16日13:00～15:30  
参加者 約60名 本院と透析施設との医療連携ネットワークを構築し、患者の紹介・逆紹介の促進を図る目的で透析施設の医療従事者を対象として「下肢末梢動脈疾患指導管理加算」と「糖尿病合併症管理料」の算定に必要な診療技術(糖尿病フットケア)に関する実践講座を開催。本院で実施している糖尿病フットケア技術に関して河野茂夫診療科長、泉有紀米国足病医、大井雅之義肢装具士による紹介・解説および質疑応答。
- ・第13回京都医療センター1型糖尿病セミナー「先進糖尿病治療と患者支援」、2017年3月12日(日)  
11:00-15:00、参加者 67名、先進糖尿病治療に必要な患者支援につき神戸大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科助教の廣田勇士先生、国立病院機構大阪医療センター糖尿病内科医師の加藤研先生、武居小児科医院院長の武居正郎先生、南昌江内科クリニック院長の南昌江先生、愛生会山科病院糖尿病内科部長の神内謙至先生、土浦協同病院代謝・内分泌内科科長の神山隆治先生を招聘して研修会を開催。

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
国内学会	浅原哲子 生活習慣病における魚油・ $\omega$ 3脂肪酸の意義 第20回日本病態栄養学会 京都
国内学会	上ノ町かおり、小鳥真司、西田博樹、日下部徹、浅原哲子、大谷哲之、猪飼伊和夫、島津章、河野茂夫 高齢社会におけるリフィーディング症候群発症防止のための栄養療法の意義 第20回日本病態栄養学会 京都
国内学会	小鳥真司、日下部徹、浅原哲子、大谷哲之、島津章、河野茂夫 短期間の外来での食事療法によって大幅な減量と2型糖尿病および脂肪肝の顕著な改善を認めた肥満症の一例 第20回日本病態栄養学会 京都
国内学会	浅原哲子、田中将志、山陰一、島津章 肥満症の心血管疾患発症における単球M1/M2形質の病態生理学的意義-肥満症コホート研究- 第37回日本肥満学会 東京
国内学会	真田樹義、宮地元彦、石井好二郎、浅原哲子 サルコペニア肥満の診断と体力及び生活習慣病発症リスク 第37回日本肥満学会 東京

国内学会	山陰一、村中和哉、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 CAVIは肥満症患者の心血管疾患発症予測マーカーとなる-多施設共同前向き肥満症コホート- 第37回日本肥満学会 東京
国内学会	増田慎也、田中将志、井上隆之、北野隆司、村中和哉、山陰一、島津章、浅原哲子 飽和脂肪酸負荷に伴うマイオカインCXCL1分泌は筋細胞分化を促進させる 第37回日本肥満学会 東京
国内学会	福田宗孝、湯澤章、浅原哲子、山陰一、真田樹義、石井好二郎 肥満者の心拍変動自律神経活動の変化と肥満症の進行は関連する 第37回日本肥満学会 東京
国内学会	湯澤章、福田宗孝、真田樹義、浅原哲子、山陰一、渡邊裕也、石井好二郎 肥満者における骨格筋量とメタボリックシンドローム(Mets)リスク項目の推移の縦断的検討 第37回日本肥満学会 東京
国内学会	北野隆司、橋本恵以、中元昌広、古川祐一、星澤奈央子、前田仁美、榎田哲哉、北島直文、田中将志、増田慎也、井上隆之、山陰一、村中和哉、島津章、谷史人、浅原哲子 熱ショックタンパク質HSPを介したT細胞の機能制御による腸管の慢性炎症改善の可能性 第37回日本肥満学会 東京
国内学会	古嶋大詩、石井好二郎、浅原哲子、真田樹義 日本人成人肥満男女を対象としたサルコペニア簡易評価法の開発 第37回日本肥満学会 東京
国内学会	上ノ町かおり、西田博樹、浅原哲子 チーム医療によるメタボ対策レシピ本・お弁当本の刊行とその減量治療効果 第37回日本肥満学会 東京
国内学会	田中将志、山陰一、増田慎也、井上隆之、北野隆司、村中和哉、和田啓道、長谷川浩二、荒木里香、的場ゆか、齋藤美穂、長岡匡、米澤一也、田中剛史、大谷すみれ、澤村守夫、西村元伸、島津章、浅原哲子 肥満・糖尿病における認知症予知バイオマーカーの探索-血清TREM2の病態意義- 第37回日本肥満学会 東京
国内学会	井上隆之、田中将志、増田慎也、山陰一、北野隆司、村中和哉、和田啓道、長谷川浩二、島津章、浅原哲子 活性化ミクログリアにおけるSIRT1を介したω3不飽和脂肪酸による炎症抑制作用機序の解明 第37回日本肥満学会 東京
研究会発表	浅原哲子 チーム医療による効果的な食事療法のアプローチ-メタボ対策レシピ本からの学習- 第4回デュアルインピーダンス法を用いた内臓脂肪測定法研究会 京都
国際学会	Kitano R, Hashimoto K, Nakamoto M, Furukawa Y, Hoshizawa N, Maeda H, Masuda T, Kitabatake N, Tanaka M, Masuda S, Inoue T, Yamakage H, Muranaka K, Shimatsu A, Tani F, Satoh-Asahara N Novel Mechanisms to Suppress Systemic Chronic Inflammation by the Gut Microbiota-derived Heat Shock Protein through Regulation of Intestinal Immunity 第21回アディポサイエンスシンポジウム 大阪
国内学会	浅原哲子 楽しく痩せる、楽しんで痩せるを科学する SY02-1チーム医療の実効性と減量持続効果-HPAaxis活性とストレスマネジメント- 第16回日本抗加齢医学会総会 神奈川
国内学会	浅原哲子、田中将志、増田慎也、村中和哉、山陰一、小島真司、河野茂夫、和田啓道、長谷川浩二、島津章 GLP-1 受容体作動薬による単球・マクロファージのオートファジー誘導を介した硬動脈硬化作用 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 京都
国内学会	山陰一、村中和哉、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 国立病院機構多施設共同肥満症コホートにおける心血管イベント発症予知因子としての新規動脈硬化指標・CAVIの有用性 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 京都
国内学会	田中将志、増田慎也、山陰一、佐々木洋介、村中和哉、和田啓道、長谷川浩二、塚原徹也、島津章、浅原哲子 糖尿病における末梢血単球と頸動脈プラーク浸潤マクロファージのM1/M2形質連関 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 京都
国内学会	増田慎也、田中将志、村中和哉、山陰一、島津章、浅原哲子 パルミチン酸負荷による筋管細胞のCXCケモカイン分泌とその機能の解明 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 京都
国内学会	浅原哲子、田中将志、増田慎也、山陰一、村中和哉、松尾禎之、猪飼伊和夫、畑啓昭、井上真由美、全泰和、島津章 肥満に伴う内臓・皮下脂肪蓄積における線維化関連因子・トロンボスポンジン-1の病態生理学的意義 第89回日本内分泌学会学術総会 京都
国内学会	浅原哲子、白井健、島津章 腸内細菌と肥満症-エクオールとの関与- 第89回日本内分泌学会学術総会 京都
国内学会	山陰一、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 CAVIは肥満症患者の心血管疾患発症予測マーカーとなる-多施設共同肥満症コホートにおける心血管イベント発症追跡- 第89回日本内分泌学会学術総会 京都
国際学会	増田慎也、田中将志、村中和哉、山陰一、島津章、浅原哲子 パルミチン酸負荷による筋管細胞のCXCケモカイン発現の変動とその生理的意義 第89回日本内分泌学会学術総会 京都
国内学会	田中将志、増田慎也、村中和哉、山陰一、和田啓道、長谷川浩二、島津章、浅原哲子 肥満症では単球のGLP-1受容体を介したオートファジー誘導と泡沫化抑制作用が障害される 第89回日本内分泌学会学術総会 京都
研究会発表	浅原哲子 チームで取り組む効果的な肥満症治療 第39回糖尿病治療研究会 京都
国内学会	小島真司、水谷結香子、渡邊知一、村田敬、中川内玲子、山田和範、浅原哲子、島津章、清野裕、梶尾裕、河野茂夫 西太平洋地域におけるガス産生性糖尿病足壊疽症例の検討-国際多施設共同研究- 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 京都
国際学会	河野茂夫 Education programme on the Diabetic Foot in the Western Pacific. The 16th Malvern Diabetic Foot Conference Mlvern,UK
国内学会	河野茂夫、寺師浩人、日高寿美、溝上祐子、竹内一馬、河辺信秀、渥美義仁 糖尿病足病変とフットケア 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 京都府京都市
教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変診療の実際とトピックス-糖尿病足病変国際ガイドライン2015から- 第9回フットケアセミナー 愛知県名古屋市
教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変診療の実際-国際ガイドライン2015のトピックス 第13回乙訓糖尿病懇話会 京都府京都市
教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変診療の実際とトピックス-糖尿病足病変国際ガイドライン2015から- 坂口糖尿病懇話会 兵庫県尼崎市
教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変の治療と最新動向 第12回 広島実践フットケア研究会 第6回講演会 広島県広島市

教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変診療の実際とトピックス-国際ガイドライン2015より- 第14回道南フットケア研究会 北海道函館市
国際学会	河野茂夫 Diabetic Foot Problems and Education Programme on the Diabetic Foot in Western Pacific Region 11 t h IDF-WPR Congress 2016&8th AASD Scientific Meeting 台湾 台北
国際学会	河野茂夫 Foot care in WPR -screening,prevention,and treatment 11 t h IDF-WPR Congress 2016&8th AASD Scientific Meeting 台湾 台北
研究会	河野茂夫 糖尿病足病変診療の実際のトピックス 日本糖尿病学会 中国四国地方会第54回総会 高知県 高知市
教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変診療の実際のトピックス 第14回生活習慣予防講演会 岐阜県岐阜市
研究会	河野茂夫 糖尿病フットケア外来の現状と今後の対策 第51回糖尿病学の進歩 京都府京都市
教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変診療のトピックスと実際 泉州糖尿病Up to Date 2017 大阪府和泉市
国内学会	岡田早未、寺見隆宏、渡邊聡子、須藤梨沙、太田徹、梶谷展生、伊勢田泉、肥田和之 糖毒性状態においてシタグリブチンからカナグリフロジンへの切り替えが糖・脂質代謝、細胞内エネルギー動態に及ぼす効果の検討 第59回日本糖尿病学会学術大会 京都
国内学会	岡田早未、中川内玲子、小鳥真司、塚本雅美、渡邊知一、村田敬、山田和範、浅原哲子、島津章、荒田順、河野茂夫 右踵底部慢性潰瘍に右踵骨折と左足趾骨髄炎を合併し、保存的治療した2型糖尿病の1例 第53回日本糖尿病学会近畿地方会 大阪
研究会発表	日下部徹、浅原哲子 メタボリックシンドロームから見た高尿酸血症 高尿酸血症フォーラム～新たな治療展開を考える～ 京都
国内学会	日下部徹 レプチンのトランスレーショナルリサーチ 第20回 日本心血管内分泌代謝学会学術総会 東京
研究会	日下部徹 レプチンを用いた肥満症、糖尿病に対する新しい治療法の開発 平成28年度 京都成人血管病シンポジウム 京都
研究会	日下部徹、山陰一、島津章、浅原哲子 日本人糖尿病の合併症重症化予防の為に効果的治療戦略・医療連携体制の構築・多施設共同研究 (JOMS/J-DOS2/J-DEFENS研究) 第1回 糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ研究会 東京都
国内学会	日下部徹、田中智洋、宮澤崇、青谷大介、野口倫生、阿部恵、海老原健、中尾一和 AGPAT2遺伝子変異による脂肪萎縮症～我が国における先天性全身性脂肪萎縮症の遺伝子解析 第37回日本肥満学会 東京
研究会発表	日下部徹 脂肪萎縮症から学ぶ肥満症の本態 第1回 内分泌代謝トランスレーショナル医学塾 京都
研究会発表	浅原哲子 内分泌代謝の臨床研修拠点としての京都医療センターの将来 第1回 内分泌代謝トランスレーショナル医学塾 京都
国際学会	Takashi Murata, Munehide Matsuhisa, Akio Kuroda, Masao Toyoda, Yushi Hirota, Ken Kato, Hideaki Sawaki, Atsuhito Tone, Satoshi Kawashima, Akira Okada, Naoki Sakane PREDICTIVE FACTORS OF THE ADHERENCE TO THE REAL-TIME CGM SENSORS: A PROSPECTIVE OBSERVATIONAL STUDY (PARCS STUDY): STUDY DESIGN 10th International Conference on Advanced Technologies & Treatment for Diabetes Paris (France)
国内学会	村田敬 シンポジウム17 内分泌代謝疾患の移行期医療 1型糖尿病の成人移行にまつわる現状と課題 -内科の立場から- 第89回日本内分泌学会学術総会 京都
国内学会	村田敬 シンポジウム26 テクノロジーの進歩がもたらす光と影 先進糖尿病治療領域における生命倫理 第59回日本糖尿病学会学術大会 京都
国内学会	村田敬、河口八重子、岡田浩、山本利恵、吉岡ふみ、渡邊知一、水谷結香子、小鳥真司、中川内玲子、浅原哲子、河野茂夫、山田和範、坂根直樹 持続皮下インスリン注入療法(CSII)導入が1型糖尿病患者の体重に与える影響 第59回日本糖尿病学会学術大会 京都
国内学会	Tomokazu Watanabe, Takashi Murata, Yukako Mizutani, Hayami Okada, Masami Tsukamoto, Shinji Odori, Reiko Nakagawachi, Fumi Yoshioka, Kazunori Yamada, Shigeo Kono, Akira Shimatsu, Noriko Satoh-Asahara, Naoki Sakane Diagnostic accuracy of anti-GAD antibody in type 1 diabetes mellitus: comparison between ELISA and RIA 第70回国立病院総合医学会 宜野湾
研究会	村田敬、二連木 晋輔、坂根直樹、黒田暁生、難波光義、小林哲郎 日本先進糖尿病治療研究会によるインスリンポンプに使用する電池に関する調査 第16回日本先進糖尿病治療研究会 横浜
研究会	村田敬、坂根直樹、渡邊 知一、水谷 結香子、河口八重子、吉岡ふみ、岡田浩、小久保敦子、上ノ町かおり、繁井三智子、山地聡子、山本利恵、小鳥真司、中川内玲子、浅原哲子、河野茂夫、山田和範 1型糖尿病患者における摂食障害の有病率とNST介入・家族支援・ピアカウンセリングの重要性 第22回小児・思春期糖尿病研究会 大阪
研究会	村田敬、津崎こころ、渡邊知一、水谷結香子、岡田早未、塚本雅美、小鳥真司、中川内玲子、吉岡ふみ、河野茂夫、山田和範、島津章、浅原哲子、坂根直樹 1型糖尿病診断のためのELISA法およびRIA法による抗GAD抗体の診断精度の比較 第14回1型糖尿病研究会 徳島
研究会	塚本 雅美、村田 敬、栗田 康弘、齊ノ内 信、渡邊 知一、水谷 結香子、中川内 玲子、坂根 直樹、村瀬 永子、河野 茂夫、山田 和範 インスリンポンプ使用中に非痙攣性てんかん重積状態を合併した1型糖尿病患者の1例 第53回日本糖尿病学会近畿地方会 大阪
研究会	村田敬、松久 宗英、黒田暁生、豊田 雅夫、廣田勇士、加藤研、澤木秀明、利根淳仁、川嶋聡、坂根直樹 リアルタイム持続血糖測定器(CGM)センサーのアドヒアランス予測因子に関する前向き観察研究:研究デザイン 第16回日本先進糖尿病治療研究会 横浜
研究会発表	村田敬 センサー付きインスリンポンプ(SAP)療法の実際 第32回京都糖尿病教育研究会 京都
研究会発表	村田敬 1型糖尿病の最新治療について 第5回近畿学術集会 京都
研究会発表	村田敬 インスリン療法にまつわる心理・社会的な要因 ～SAPからプレフィルド製剤まで～ 東海大学スモールミーティング 東京
研究会発表	村田敬 低血糖予防に配慮した糖尿病治療 伏見医師会ランチョンセミナー 京都
教育講演	村田敬 糖尿病患者における低血糖の早期発見と適切な対処の重要性 メトロニックメディアセミナー 京都
教育講演	村田敬 基礎インスリンをうまく調節するコツ ～インスリン療法の土台を安定させるために～ 第4回つくば3C研究会 土浦

国際学会	Sakane N, Kotani K, Tsuzaki K, Takahashi K, Nagai N, Moritani T, Egawa K, Yoshimura M, Kitagawa Y, Shibata H. Eating behavior associated with weight regain after dietary intervention in obese female. The XIII International Congress on Obesity (ICO) Vancouver, Canada
国内学会	坂根直樹, 二連木晋輔, 津崎こころ, 大谷良. アルツハイマー病および軽度認知障害におけるアポリポ蛋白と認知機能との関連 第35回日本認知症学会 東京
国内学会	吉岡ふみ, 村田敬, 山田和範, 津崎こころ, 河口八重子, 二連木晋輔, 山本利恵, 岡田浩, 渡邊知一, 水谷結香子, 米本俊良, 佐伯邦雄, 吉岡宗, 坂根直樹. 成人1型糖尿病女性におけるPTH分泌の役割 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 京都
国内学会	村田敬, 二連木晋輔, 坂根直樹, 黒田暁生, 難波光義, 小林哲郎. 日本先進糖尿病治療研究会によるインスリンポンプに使用する電池に関するアンケート調査 第16回日本先進糖尿病治療研究会 横浜
国際学会	Fujiwara S, Kotani K, Tsuzaki K, Sakane N. Gait speed as a predictor of all-cause mortality in community-dwelling elderly people in Japan: Themima cohort study. 11th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress Taiwan, Taipei
国際学会	Sukino S, Nirengi S, Tsuzaki K, Kawaguchi Y, Sakane N. The effect of Vitamin D-rich diet on Advanced Glycation End Products in Overweight and obese Women: VINTAGE trial 11th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress Taiwan, Taipei
国際学会	Okada H, Nakagawa Y, Sakane N. The validation of the community pharmacists' motivation to lifestyle support for diabetics: The effect of "3 star pharmacists training program" 11th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress Taipei, Taiwan
国際学会	Yamada S, Nakashima K, Abe K, Morisaki H, Ito J, Sato N, Ide M, Sakane N. Nurse-led training and education program on insulin pump therapy in Japan. 11th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress Taiwan, Taipei
国内学会	宮崎亮, 坂根直樹, 津崎こころ, 安藤仁. 日常身体活動の時間帯と体内時計機能との関係 第18回日本健康支援学会年次学術大会 東京

## □ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	出版社	発行年 および月
Takayuki Inoue, Masashi Tanaka, Shinya Masuda, Ryuji Ohue-Kitano, Hajime Yamakage, Kazuya Muranaka, Hiromichi Wada, Toru Kusakabe, Akira Shimatsu, Koji Hasegawa, Noriko Satoh-Asahara	Omega-3 polyunsaturated fatty acids suppress the inflammatory responses of lipopolysaccharide-stimulated mouse microglia by activating SIRT1 pathways	Biochimica et Biophysica Acta			552-560		Online2017.2.22
Komiyama M, Shimada S, Wada H, Yamakage H, Satoh-Asahara N, Shimatsu A, Akao M, Morimoto T, Takahashi Y, Hasegawa K.	Time-dependent Changes of Atherosclerotic LDL Complexes after Smoking Cessation.	J Atheroscler Thromb	23	Equb ahead of print	Equb ahead of print		Equb ahead of print
Murakami T, Miyachi M, Iemitsu M, Murakami H, Kawano H, Gando Y, Kawakami R, Ishii K, Satoh-Asahara N, Sanada K.	Med Sci Sports Exerc. Indexes for Sarcopenia and Obesity Have The Difference Association with Metabolic Syndrome Risk Factors.	Med Sci Sports Exerc.	48	5 Supplement 1	355		2016.5
Funamoto M, Sugawara Y, Katanasaka Y, Miyazaki Y, Imaizumi A, Kakeya H, Yamakage H, Satoh-Asahara N, Komiyama M, Wada H, Morimoto T.	Highly absorptive curcumin reduces serum atherosclerotic low-density lipoprotein levels in patients with mild COPD.	International Journal of COPD	In press	In press	In press		In press
Satoh-Asahara N, Ito H, Akashi T, Yamakage H, Kotani K, Nagata D, Nakagome K, Noda M.	A patient-held medical record integrating depression care into diabetes care.	Japanese Clinical Medicine	18	7	19-22		2016.6
Miyazaki Y, Katanasaka Y, Sunagawa Y, Sae Hirano, Funamoto M, Morimoto E, Komiyama M, Shimatsu A, Satoh-Asahara N, Yamakage H, Wada H, Hasegawa K, Morimoto T.	Effect of Statins on Atherogenic Serum Amyloid A and $\alpha$ 1-Antitrypsin Low-Density Lipoprotein Complexes.	International Journal of Cardiology	15	225	332-336		2016.12
Tanaka M, Masuda S, Matsuo Y, Sasaki Y, Yamakage H, Muranaka K, Wada H, Hasegawa K, Tsukahara T, Shimatsu A, Satoh-Asahara N.	Hyperglycemia and Inflammatory Property of Circulating Monocytes are Associated with Inflammatory Property of Carotid Plaques in Patients Undergoing Carotid Endarterectomy.	J Atheroscler Thromb.	23	10	1212-1221		2016.10
浅原哲子	総説企画テーマ「肥満症治療へのアプローチ」チームで取り組む効果的な肥満症の食事療法	日本肥満学会雑誌「肥満研究」	22	2	75-83	日本肥満学会	2016.8
浅原哲子	特集:「糖尿病における大血管症」糖尿病地域連携による合併症抑制の試み-J-DEFENS Study より-	プラクティス (Journal of practical diabetes)	33	4	435-442	医歯薬出版株式会社	2016.7
浅原哲子	特集:慢性腎臓病(CKD)を極める 診断と病因の分類 11.脂質異常症、メタボリックシンドローム	臨床雑誌「内科」	118	1	53-59	南江堂	2016.7

村田敬、浅原哲子	「実地医科が診る内分泌疾患」セミナー11低血糖その原因と予防	Medical Practice	33	11	1773-1778	文光堂	2016.11
浅原哲子	実地医科が診る内分泌疾患 E 検査各論25.糖尿病	最新内分泌検査マニュアル第3版	33	11	211-218	日本医事新報社	2017.2
浅原哲子	内科診断の道しるべ その症候、どう診るどう考える 肥満	medicina Thromb	53	4	22-27	医学書院	2016.4
浅原哲子、田中将志	【最新の解析技術】22.ヒトの単球あるいはマクロファージの解析:脂肪組織慢性炎症とリポドミクス	医学のあゆみ	257	6	721-726	医歯薬出版株式会社	2016.5
Satoh-Asahara N, Ito H, Akashi T, Yamakage H, Kotani K, Nagata D, Nakagome K, Noda M.	A Patient-Held Medical Record Integrating Depression Care into Diabetes Care.	Jpn Clin Med.	7		19-22		
河野 茂夫	糖尿病足病変の困難症例にどう対応するか?	総合診療	26	4	327-329	医学書院	2016.4.15
河野 茂夫	慢性合併症 糖尿病足潰瘍・壊疽糖尿病足病変の疫学	日本臨床増刊号新時代の臨床糖尿病学(下)	74	増刊号2	352-356	日本臨床社	2016.4.20
河野 茂夫	15 その他の糖尿病合併症	内分泌専門医ガイドブック 改訂第4版			418-420	診断と治療社	2016.4.30
河野 茂夫	糖尿病フットケア外来のシステム形成と病診連携	糖尿病診療マスター	14	7	542-545	医学書院	2016.7.15
河野 茂夫	下肢の動脈硬化の程度を調べる検査	糖尿病ケア 2016年増刊号キッズフレーズで学ぶ!1分解説で伝わる!糖尿病の検査値マスターガイド	168	増刊	184-189	メディカ出版	2016.9.10
河野 茂夫	特集:重症下肢虚血を救え	日経 メディカル 特別編集版		特別編集版	8-12	日経BP社	2016.8.10
河野 茂夫	糖尿病足病変のまとめ ~診療のピットフォールと対策、および国際情勢について~	Diabetes Frontier	27	6	677-684	メディカルレビュー社	2016.12.26
Inoue T, Tanaka M, Masuda S, Ohue-Kitano R, Yamakage H, Muranaka K, Wada H, Kusakabe T, Shimatsu A, Hasegawa K, Satoh-Asahara N	Omega-3 polyunsaturated acids suppress the inflammatory responses of lipopolysaccharide-stimulated mouse microglia by activating SIRT1 pathways.	Biochim Biophys Acta	1862	2	552-560		Epub ahead of print
Aotani D, Son C, Shimizu Y, Nomura H, Hikida T, Kusakabe T, Tanaka T, Miyazawa T, Hosoda K, Nakao K	Reevaluation of anti-obesity action of mazindol and elucidation of its effect on the reward system.	Neurosci Lett	28	633	141-145		2016.10.28
Mori E, Fujikura J, Noguchi M, Nakao K, Matsubara M, Sone M, Taura D, Kusakabe T, Ebihara K, Tanaka T, Hosoda K, Takahashi K, Asaka I, Inagaki N, Nakao K	Impaired adipogenic capacity in induced pluripotent stem cell from lipodystrophic patients with BSCL2 mutations.	Metabolism	65	4	543-556		2016.4
日下部徹、中尾一和	脂肪萎縮症	最新医学	71	10	85-92		2016.10.10
日下部徹、野口倫生、巖西真規、中尾一和	7.トピックス:日本人の脂肪萎縮糖尿病の成因	BIO Clinical	32	3	50-52		2017.2.10
田中智洋、日下部徹	第1章 肥満症	Q&A 京都大学健康市民講座 生活習慣病の科学 Neo			38-72	京都大学学術出版社	2016.12.10
日下部徹、田中智洋	第2章 糖尿病	Q&A 京都大学健康市民講座 生活習慣病の科学 Neo			74-101	京都大学学術出版社	2016.12.10
荒井宏司、全泰和、宮澤崇、日下部徹	第12章 ホルモン補充療法	Q&A 京都大学健康市民講座 生活習慣病の科学 Neo			338-357	京都大学学術出版社	2016.12.10
Murata T, Tsuzaki K, Nirengi S, Watanabe T, Mizutani Y, Okada H, Tsukamoto M, Odori S, Nakagawachi R, Kawaguchi Y, Yoshioka F, Yamada K, Shimatsu A, Kotani K, Satoh-Asahara N, Sakane N.	Diagnostic accuracy of the anti-glutamic acid decarboxylase antibody in type 1 diabetes mellitus: Comparison between radioimmunoassay and enzyme-linked immunosorbent assay.	J Diabetes Investig.		doi: 10.1111/jdi.12594.			2016 11 10. [Epub ahead of print]
Murata T, Aoki Y, Kato Y, Tanaka T, Araki R, Kato K, Hida K, Kawamura T, Yoshida K, Imamura Y, Toyonaga T, Yamada K, Sakane N, for the NHO T1DM Research Group	The Percentage of Continuous Subcutaneous Insulin Infusion Usage Among Adult Type 1 Diabetes Mellitus Patients in Japan: A Cross-Sectional Study at National Hospital Organization Hospitals	J Diabetes Sci Technol.		In press.			2017.2
村田 敬		この1冊でカーボカウント・インスリンポンプ・CGMがわかる! 糖尿病3Cワークブック 改訂第2版				中山書店	2016.5



村田 敬、渡邊 知一、水谷 結香子、河口 八重子、山本 利恵、中川内 玲子、吉岡 ふみ、坂根直樹、山田 和範	当院におけるグルコースセンサー付きインスリンポンプ集団指導の経験	日本先進糖尿病治療研究会雑誌	12		1-4		2016.11
村田 敬	FORUM 自己管理 第1回-第3回	プラクティス	33	4-6	464-466 588-590 708-710	医歯薬出版	2016.7, 9, 11
村田 敬	食事療法はなぜ困難なのか?~「食」の自己管理をサポートするためのヒント~	臨床雑誌 内科	117-119			南江堂	2016.5-12
村田 敬	1型糖尿病の成人移行にまつわる現状と課題 - 内科の立場から -	日本内分泌学会雑誌	92	1	153-153		2017.1
Sakane N, Kotani K, Tsuzaki K, Takahashi K, Nagai N, Moritani T, Egawa K, Yoshimura M, Kitagawa Y, Shibata H.	Eating behavior associated with weight regain after dietary intervention in obese female.	Journal of Diabetes and Obesity	3	2	1-4	OMEGA PUBLISHERS	2016.8.16
坂根直樹.	ICTを用いた糖尿病予防と教育	日本糖尿病情報学会誌	15		89-95	NPO法人日本糖尿病情報学会	
Sakane N.	Current status and issues of diabetes class	日本臨床	Suppl 2		609-612	株式会社日本臨床社	2016.4
Sakane N.	Diabetes prevention in the real world: Insights from the JDPP and J-DOT1.	Journal of General and Family Medicine					
Sakane N, Sato J, Tsushita K, Tsujii S, Kotani K, Tominaga M, Kawazu S, Sato Y, Kamae I, Yoshida T, Kiyohara Y, Sato S, Tsuzaki K, Takahashi K, Kuzuya H.	Effects of lifestyle intervention on weight and metabolic parameters in patients with impaired glucose tolerance related to beta-3 adrenergic receptor gene polymorphism Trp64Arg(C/T): Results from the Japan Diabetes Prevention Program.	Journal Diabetes Investigation	7	3	338-342	Wiley	2016.5
Sakane N, Sato J, Tsushita K, Tsujii S, Kotani K, Tominaga M, Kawazu S, Sato Y, Usui T, Kamae I, Yoshida T, Kiyohara Y, Sato S, Tsuzaki K, Nirengi S, Takahashi K, Kuzuya H.	Determinants of glycosylated hemoglobin in subjects with impaired glucose tolerance: Subanalysis of the Japan Diabetes Prevention Program.	Journal of Clinical Medicine Research	9	4	360-365	Elmer	2017.2
Ishiyama N, Sakamaki K, Shimomura Y, Kotani K, Tsuzaki K, Sakane N, Miyashita K, Fukamachi I, Kobayashi J, Stanhope KL, Havel PJ, Kamachi K, Tanaka A, Tokita Y, Machida T, Murakami M, Nakajima K.	Lipoprotein lipase does not increase significantly in the postprandial plasma.	Clinica Chimica Acta.	464		204-210	Elsevier	2016.11
Tsuzaki K, Kotani K, Yamada K, Sakane N.	Fasting Lipoprotein Lipase Protein Levels Can Predict a Postmeal Increment of Triglyceride Levels in Fasting Normohypertriglyceridemic Subjects.	Journal of Clinical Laboratory Analysis.	30	5	404-407	Wiley	2016.9
Nirengi S, Amagasa S, Homma T, Yoneshiro T, Matsumiya S, Kurosawa Y, Sakane N, Ebi K, Saito M, Hamaoka T.	Daily ingestion of catechin-rich beverage increases brown adipose tissue density and decreases extramyocellular lipids in healthy young women.	SpringerPlus	5	1	1363	Springer	2016.8
Nirengi S, Homma T, Inoue N, Sato H, Yoneshiro T, Matsushita M, Kameya T, Sugie H, Tsuzaki K, Saito M, Sakane N, Kurosawa Y, Hamaoka T.	Assessment of human brown adipose tissue density during daily ingestion of thermogenic capsinoids using near-infrared time-resolved spectroscopy.	Journal of Biomedical Optics	21	9	091305	SPIE	2016.9
Nirengi S, Fujibayashi M, Tsuzaki K, Furuno S, Uchibe A, Kawase Y, Kotani K, Sakane N.	ACTN3 gene R577X polymorphism associated with high-density lipoprotein cholesterol and adiponectin in rugby players.	Endocrine Practice	22	7	786-790	American Association of Clinical Endocrinologists	2016.7
Sukino S, Kotani K, Nirengi S, Gugliucchi A, Caccavello R, Tsuzaki K, Kawaguchi Y, Takahashi K, Egawa K, Shibata H, Yoshimura M, Kitagawa Y, Sakane N.	Dietary Intake of Vitamin D Is Related to Blood Levels of Advanced Glycation End Products during a Weight Loss Program in Obese Women	Journal of Biomedicine	1		1-4	ivyspring	2016.8
Kawaguchi Y, Nirengi S, Kotani K, Somei J, Kawamoto T, Tsuzaki K, Yonei Y, Sakane N.	Mushroom intake and advanced glycation end products in the skin among community-dwelling elderly subjects: preliminary data	Journal of Biomedicine	2	1	8-11	ivyspring	2017.1
Murata T, Tsuzaki K, Nirengi S, Watanabe T, Mizutani Y, Okada H, Tsukamoto M, Odori S, Nakagawachi R, Kawaguchi Y, Yoshioka F, Yamada K, Shimatsu A, Kotani K, Satoh-Asahara N, Sakane N.	Diagnostic accuracy of the anti-glutamic acid decarboxylase antibody in type 1 diabetes mellitus: comparison between radioimmunoassay and enzyme-linked immunosorbent assay.	Journal Diabetes Investigation				Wiley	2017.1
Miyazaki R, Takeshita T, Kotani K.	Exercise intervention for anti-sarcopenia in community-dwelling older people.	Journal of Clinical Medicine Research	8	12	848-853	Elmer Press	2016.12
Masashi Tanaka, Shinya Masuda, Yoshiyui Matsuo, Yousuke Sasaki, Hajime Yamakege, Kazuya Muranaka, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Tetsuya Tsukahara, Akira Shimatsu and Noriko Satoh-Asahara;	Hyperglycemia and Inflammatory Property of Circulating Monocytes are Associated with Inflammatory Property of Carotid Plaques in Patients Undergoing Carotid Endarterectomy	J Atheroscler Thromb.	23	10	1212-1221		2016.10.1